

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス つばめ			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 12日		～	2026年 1月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数)	39
○従業者評価実施期間	2025年 12月 12日		～	2025年 12月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	14
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 20日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所環境が児童発達支援や放課後等デイサービスに特化したレイアウトになっており児童が活動しやすく、職員が支援しやすい	玄関・トイレ・指導訓練室・相談室・静養室など十分なスペースがありワンフロアで完結しているため移動もしやすい。職員の眼が届きやすく十分な配慮ができる	今後の活動内容に応じて、必要な療育設備や備品、プログラムを導入し療育や専門的支援の幅をさらに広げていく
2	事業所職員全員が有資格者（児童指導員・強度行動障害研修修了者・保育士・教員免許・理学療法士・看護師）で支援を行っている	資格取得支援を行い、個人で複数の資格を活かしながら支援を実施。2名以上の加配による通常支援、様々な活動に対応できる体制を整えています	実務経験年数による取得が可能な資格は随時受講を勧め、個々の職員の質の向上と全体としてのレベルアップを行っていく
3	季節ごとの祭事、お出かけやお楽しみ会、夏祭りやハロウィン・クリスマス会などレクリエーション活動の充実	土曜日や長期休み期間にお出かけやイベントを計画実施している。様々な体験や社会性を身に着けることを目的とし支援に変化を持たせ利用者の満足に繋げている	近隣地域のイベントや新規開業した施設などの情報収集に努め、下見を確実にし、お出かけや体験のイベントに取り込んでいく

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	近隣地域との繋がりが少ない	近隣は商業施設が多く、十分に活動できていない	公民館等近隣地域施設の確認と活用方法を検討しをプログラムに導入していく。 近隣サービスと合同でイベント等を企画し交流の機会を作る
2	保護者会等を開催することによって、保護者同士の連携を支援することが出来ていない	保護者会や保護者同士の連携や情報共有を望む声や意見がなく、アンケート結果をみても否定的な意見が散見されている	夏祭り等のイベントを通じて利用者と共に保護者様を招待する機会を設け、保護者様同士で対面し交流できる機会を作る
3	各種マニュアルや非常災害時の対応マニュアル、避難訓練の情報や災害発生時の対応など詳細な情報提供を保護者向けに行うこと	事業所職員間ではミーティング等で共有されているが、保護者様へは十分な説明の時間確保が難しい	情報提供の方法を検討し保護者様のご負担にならないような配慮を行いつつ、ポイントをしっかりと伝えることができる仕組みづくりに取り組んでまいります